



# タイ奨学金里親プロジェクト

〒387-0011  
千曲市杭瀬下1201-2-B201  
TEL&FAX:026-272-7767  
E-mail:creyes@valley.ne.jp

会報Vol.3 2004.8

▲市長始めメンバーの若さに驚かされました。

## チェンマイ市長一団千曲市訪問報告 (2004年4月29日～5月1日)

### 千曲市長表敬訪問～両市の共通点とは～

4月29日に松本城に到着したチェンマイ市長一行を、千曲市、千曲国際交流協会、そして当会の理事が迎えに行き、松本城などを見学した後上山田の旅館へお連れしました。

翌30日、朝から千曲市長を表敬訪問。当プロジェクト会長及び相談役が同席させていただきました。宮坂市長からは、歓迎の挨拶と、市民がボランティアでチェンマイに訪問した際に受けた歓迎についてのお礼、そして千曲市についての紹介がありました。

またチェンマイ市長からは、千曲市民とのつながりのきっかけとなった千曲国際交流協会のボランティア活動、そして当プロジェクトの活動への感謝の言葉を述べられました。

「川が中心に流れていること、海がないこと、標高が300メートル台であることが、チェンマイ市と本当に良く似ています」と、述べられました。また「千曲市は清潔で美しい」と強調されました。

千曲市からは鯉のぼりや、杏葉子などの記念品が一人ひとりに手渡されました。またチェンマイ市からは当プロ



▲左からチェンマイ市長、宮坂市長、原議員、千曲国際交流協会若林会長、寺澤代表、賢慎がみです。

ジェクトにも銀製のタテをいただきました。

チェンマイ市一行の中には、市議会議員も多くおられたので、表敬訪問の後、議場を視察され、「広くてとてもきれいですね。それに傍聴席も完備されていて、ぜひチェンマイ市も参考にしたい」と市長がおっしゃっていたのが印象的でした。

### 千曲市立屋代中学校訪問～生徒との交流を～

「奨学金」が縁ということもあり、当プロジェクトの理事から、ぜひ学校訪問をとの要望を出し、屋代中学訪問が実現しました。久保学校長は今年2月に当プロジェクトの会員として「里親ツアー」に参加(会報Vol.2参照)。チェンマイとバヤオを訪問したこともあり、生徒、教員共に大歓迎でした。

まず体育館では、生徒会長から英語でのスピーチがあり、その英語力の素

晴らしさに感動しました。

さらに、全校での合唱の迫力ある歌声に一行の中には感動のあまり、涙をぬぐっている方もいたほどです。

その後、学校給食を食べ、保護者の見守る中、クラスで生徒とのダイレクトな交流の機会を持ちました。「観光スポット」についてなど、積極的な質問が出され、「ぜひチェンマイ市を訪問してほしい」とのチェンマイ市長が言う、子供達はほんとうに嬉しそうでした。「きみたちは我が市の子供達よりずっと幸せそうな顔をしているね」とのチェンマイ市長の言葉に、子供達はきっと何かを得たに違いありません。



物おじせず、積極的な生徒の姿に国際化の道を歩みました。

### 代表あいさつ

寺澤 順子

2004年度がスタートしてすでに4月29,30,5月1日と3日前、チェンマイ市長、と市の関係者の方が千曲市を訪問していただく機会を得ました。これはこのプロジェクトがチェンマイ市長の協力でスタートしたという経緯と、今年2月に、里親ツアーで里親がチェンマイ市を訪問したことなどが市長の心を動かしたためと聞きました。

始まったばかりの小さな当プロジェクトには、この公式訪問を中心となって受け入れる体制はありませんでした。そこで千曲市が主体となり、千曲国際交流協会の大きな協力を得て、チェンマイ市長一行20名を歓迎することができました。これは我々のプロジェクトにとって大きな励みとなりました。そしてなにより、これから、長期に渡って友好を深めて行くチェンマイ市の方々と関係を深めたいものとする機会を得られたことは、とても幸運なことです。

これもみな、会員の皆様ひとりひとりの協力によるものと感謝申し上げます。

千曲市ではご周知の通り、7月異例の市議会選挙があり混乱はしたものの、行政や他の市民団体、在日タイ人の方を始めボランティアの方々と協力関係が一段と深まったと思っております。

これらの行事が重なり、2004年度の奨学生の継続審査、新規選考が難航しており、大変遅れていること、皆様にお詫び申し上げます。里親の応募が予想を越え、更に22名チェンマイ市から奨学生を受け入れることになりました。

### チェンマイ市長 千曲市訪問記念講演 ～100名以上が参加～



千曲国際交流協会と、当プロジェクトの市民の主催で、千曲市「おおとりプラザ」で、記念講演会を開催しました。

広くみなさんにチェンマイ市のことや、各団体の活動を知ってもらうことを目的とし企画、予想をはるかに越え100名以上の参加者が集まりました。

市長の講演と、観光のビデオ、そして質疑応答の時間を取りました。質疑応答では、チェンマイ市の不正タクシー業者への対応や、貧困対策等への厳しい質問も出る一方で、中学生からはチェンマイ市の楽しみ方について、当プロジェクト会員からは、福祉の現状について等の質問が出され、時間が足りない程でした。

チェンマイ市長からは、市の概要や、千曲市との共通点など。そして質問に答えて、観光産業発展のための不正業者対策や、ナイトバザール整備政策、治水対策など、行政についても触れられました。

貧困の現状について、つっこんだ話が聞きたかった、との意見が聞かえる一方、チェンマイ市長が終始笑顔で、誠実に、出席者の質問に答える姿が好評でした。最後にプロジェクトとチェンマイ市とのかわりについてのビデオを上映しました。

▲市長に丁寧な答えるプラザコロン市長からは、チェンマイ市への誇りと、市政への情熱が感じられました。



▲熱心に聴き入る参加者、会場はほぼ満席でした。